



表現
コミュニケーション
Lab.



令和8年度長野県アートの手法を活用した学び推進事業（表現コミュニケーションプログラム） 実施資料

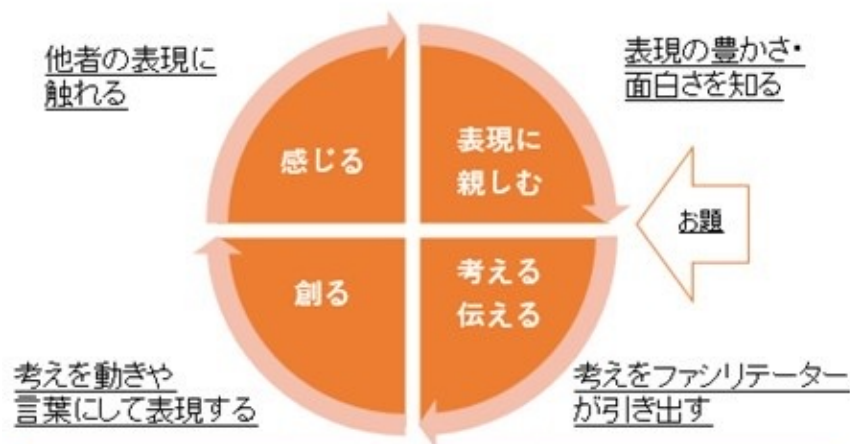
表現コミュニケーションLab.

運営事務局：有限会社ニバイハン

令和8年6月1日

＜表現コミュニケーションプログラム＞

演劇やダンスを応用したワークショップを通して、身体表現やコミュニケーション、創造力、チームワーク、他者理解、自己肯定感などが高まる。



- ★演劇の仮想的な世界を創造することにより抵抗感を和らげた状態で自己表現できる環境をつくる。
- ★個々の表現の多様性に触れ、普段の生活でのコミュニケーション力の向上につながる
- ★グループで一つの作品を創作することで、他者性に触れ、他者理解や合意形成をとる経験をする。
- ★自らの発想と身体で発表し、他者から理解・評価を得ることで、自己肯定感が高まる。

長野県県民文化部文化振興課
長野県教育委員会事務局学びの改革支援課

左に示した「第2次長野県文化芸術振興計画」と「第4次長野県教育振興基本計画」の重点施策である「アート的手法を活用した学び推進事業「表現コミュニケーション」」のプログラムを実施しながら、各ファシリテーターがそれぞれの活動を通して公教育と地域に入り、授業やワークショップを行なって参りました。

県のプログラムとして教員研修と授業内での実施を行なった結果、体験された教職員の方々からのリクエストや、市町村での取り組みに取り入れたい、という要望が増え、特に軽井沢町では令和6年度より公立全小学校（3校）の5年生の授業（全5回）、そして令和7年度は5、6年生の授業（全6回）を実施。視察者の希望も殺到しており、1学期のみで約30名の教育委員会や議員、教育関連の大学の方々にご覧いただいています。

【参考】[軽井沢町での実施紹介](#)

（長野県文化芸術情報発信サイト「カルチャー dotted ナガノ」）

このような状況をファシリテーターたちが真摯に受け止め、自らの体験を共有したり学びを深める場として有志の勉強会を開催し、「表現コミュニケーションLab.」が主体となってチームづくりを強化しています。

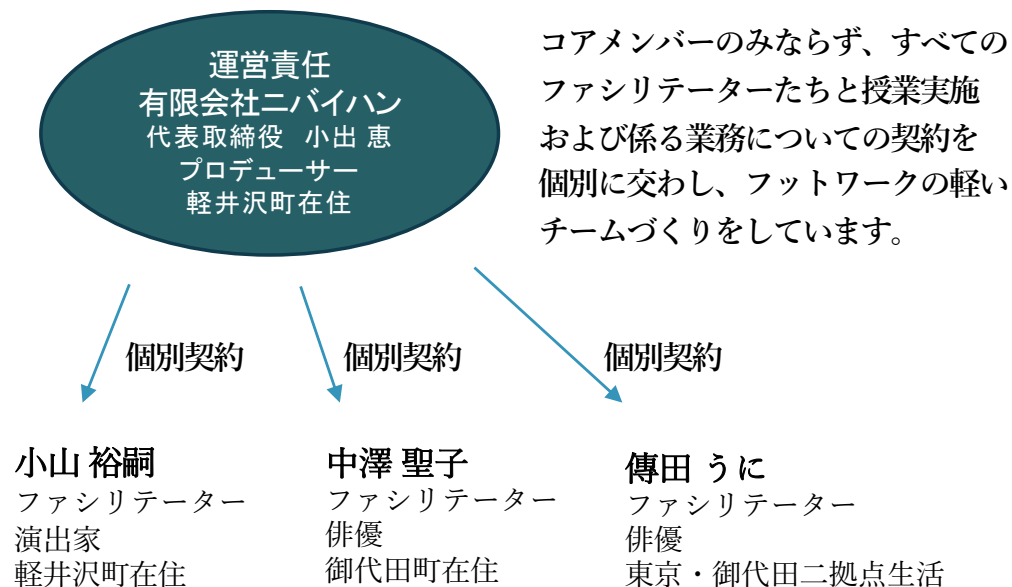
提案の背景と私たちの強み ～ 業務の実績者について（1）

わたしたちはこれまで、演劇をはじめ、様々なアート的手法を取り入れたワークショップなどを学校・教育関係者に実践、紹介して参りました。同時に、ファシリテーターやコーディネーターなど文化芸術関係者のネットワークを構築し、子どもの発想を生かし育てる活動を取り入れ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に生かせるよう、支援を進めて参りました。

令和6年春、さらなる未来を共につくるために、有限会社ニバイハン（長野県北佐久郡軽井沢町）を運営事務局として「表現コミュニケーションLab.」を立ち上げました。令和6年度、令和7年度は軽井沢町からの業務委託契約を請け、町の全小学校の授業として「表現コミュニケーション」を実施。これまでに県内にて、200時間を超える授業を積み重ねています。

本事業においても、この確かな現場実績と、多様な専門家によるチーム体制を最大限に活かし、児童生徒の身体表現やコミュニケーション、創造力、チームワーク、他者理解、自己肯定感などを高め、長野県内での持続可能で発展的な仕組みづくりに貢献します。

「表現コミュニケーションLab.」コアメンバー



実施体制 ～ 業務の実績者について (2)

学校現場のニーズにきめ細やかに対応するため、現役教員のアドバイザーを含む、専門性の高いプロフェッショナルチームで事業にあたります。

役割	氏名 (呼称)	担当業務
メインファシリテーター	中澤 聖子 (おせいさん) 小山 裕嗣 (まんぼ) 傳田 うに (うに) 清水 洋幸 (しみちゃん) 分藤 香 (ぶんちゃん) 矢萩 美里 (はぎー) 若林 優也 (わかさま) 小林 英樹 (こぼちゃん)	現場での プログラム進行の 主軸 
アシスタントファシリテーター	柴崎 直美 (きゃんちゃん) 田中 涼子 (りょうこ) 武重 快人 (たけちゃん) 長嶋 恒太 (こうちゃん)	児童生徒のサポート及び進行補助 
アドバイザー (小学校担当)	村上 聡恵 (むーちゃん)	現役の小学校教諭として、教員研修での講師および指導案作成助言
アドバイザー (中学校担当)	小林 英樹 (こぼちゃん) 二瓶 野枝 (のえ)	現役の中学校教諭として、教員研修での講師および指導案作成助言
プロデューサー (事務局)	小出 恵 (めぐみん)	有限会社ニバイハン代表取締役・運営責任者
事務局アシスト	福土 展子 (のんちゃん)	事務・進行管理・学校調整サポート
動画撮影・編集	村上 邦久 (くにさん)	広報・記録用素材の制作

令和8年度 業務実施内容

(1) 単発型表現コミュニケーションプログラムの実施（トライアル校）

本事業の価値を知ってもらう契機として位置づけ、単発の実施しやすい形で体験を提供します。

実施規模：2校 × 各1回の授業

実施方針：学校全体の取り組みというよりも、まずは「クラス単位」での実践に絞ることで、気軽に試せることを優先します。

(2) モデルパッケージ校プログラムの実施

単なる授業提供に留まらず、将来的な「自走」を見据えた伴走支援を行います。

実施規模：2校 × 各4回の授業 + 教員向けワークショップ（各校1回）

中長期的な自走スキームの提案：

▶ 1～2年目：モデルパッケージ校として本事業を通じて伴走支援を実施。市町村の教育委員会も巻き込んだ形での視察・連携を呼びかけます。※県の事業としての実施を保証するものではありません。

▶ 3年目以降：市町村の単独予算にて、地域内で自走できるスキームへ移行することを目指します。

教員向けワークショップ：対象校の教員に限定せず、地域内の他校教員や文化芸術関係者、市町村議員も参加できるオープンな場として企画し、県内での理解者を広げます。

具体的には、信州アーツ議員連盟と連携し、市町村自走に向けての後方支援及び連携協力を依頼することも検討しています。

年間スケジュール案 (2026年4月現在)

月	学校でのプログラム実施等 (公募・打合せ・授業)
4月	
5月	実施校の募集要綱作成・募集開始
6月	実施校の公募期間 学校からの相談・問い合わせ対応
7月	実施校の選定・決定 (7月末まで) 決定校へのご挨拶、日程の大枠調整
8月	事前打合せ (パッケージ校・トライアル校) 先生方との目標共有、カリキュラム調整
9月	パッケージ校①②： 第1回授業
10月	トライアル校①：単発授業実施 パッケージ校①： 教員研修 (ワークショップ)
11月	パッケージ校①②： 第2回授業
12月	パッケージ校①②： 第3回授業 トライアル校②：単発授業実施
1月	パッケージ校②： 教員研修 (ワークショップ) パッケージ校①②： 第4回授業
2月	各校からのアンケート回収・ヒアリング・市町村教育委員会への報告・アプローチ

実施体制 補足資料

ファシリテーター 実績 & プロフィール

「アートの手法を活用した学び」推進事業
表現コミュニケーション チームのご紹介

長野県アートの手法を活用した学び推進事業『表現コミュニケーション』展開図

2023年度～現在 | 活動拠点から全県への波及

2023 → 2024 → 2025+

拠点活動の確立

主要都市でのプログラム開始

主要都市でのプログラム

団体別実績シェア(%)

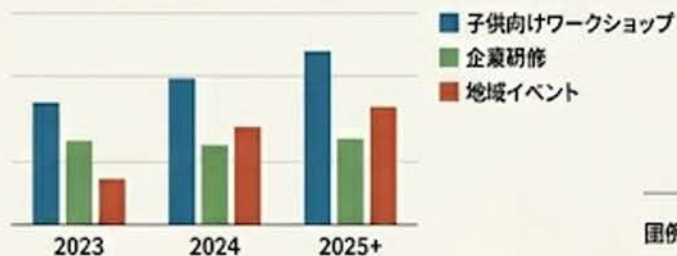


深化と普及

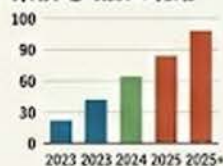
周辺地域への展開

周辺地域への展開

活動タイプ別割合



累積地域数の推移



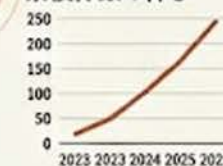
波及と自立的展開

自主的な企画の増加

広範な地域への浸透

広範な地域への浸透

累積件数の伸び



212.7人
参加人数合計

88枚
実施市町村数

88%
リピート率

団例
● ファシリテーター-A ● ファシリテーター-B ● ファシリテーター-D
● ファシリテーター-C ● ファシリテーター-E ● その他



Facilitators

ともに創るファシリテーターたち

ファシリテーター：小山 裕嗣



小山 裕嗣

ワークネーム：まんぼ

舞台演出家・演劇教育ファシリテーター・ラジオディレクター。

16歳でパリ・コンセルヴァトワール教授だった演出家ワダ・ユタカに師事。スタニスラフスキーシステムをベースとした、即興劇による劇作法、教授法を5年間体系的に学ぶ。

2007年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科での即興劇ワークショップを皮切りに、演劇教育の実践を本格的に開始。これまでに数多くの演劇教育のワークショップや教員研修等を務めてきた。2016年演劇プロデュースカンパニー「Art-Loving」を設立し、一貫して演者の主体性を引き出しながら、対話を重視した形成的な創作アプローチを実践している。

2019年軽井沢町に移住後は、公教育での実践を本格化。長野県「アートの手法を活用した学び」表現コミュニケーションのファシリテーターとして、長野県内の各学校で授業を展開中。

ファシリテーター：中澤 聖子



中澤 聖子

ワークネーム：おせいさん

俳優・身体表現者。演劇教育ファシリテーター。

日本で蜷川幸雄や串田和美を始め、様々な演出家のもと、ジャンルも特色も違う舞台に多数出演。2004年よりフランスにてジャック・ルコック国際演劇学校で2年間、身体表現を生かした演劇を学び卒業。その後、イギリスのカンパニーTheatre Ad Infinitumと創作・公演を重ねる。代表作『Ballad of the Burning Star』は、エジンバラ・フリンジフェスティバル大賞を始め4つの賞を受賞し世界で公演。

表現ワークショップは『演劇教育』×『自然』をコンセプトに子どもたちが心も身体も緩めながら自分や友だちを感じ、発見することを大切に、様々な場所で開催。2023年4月に長野県に拠点を移し、県内の小中学校で表現の授業や、地域の子どもたちと継続ワークショップを開催するなど、たくさんのお出逢いを重ね、活動の場を広げている。

ファシリテーター：傳田 うに



傳田 うに

ワークネーム：うに

俳優／表現コミュニケーションLab.ファシリテーター／大妻女子大学非常勤講師。

大学在学中に養成所で日本舞踊、狂言、新内浄瑠璃などの伝統芸能を学び、2008～2015年まで劇団鹿殺しに所属。現在は軽井沢町の公立学校で「表現コミュニケーション授業」を実践するほか、関西で俳優の近藤芳正氏と「コンチャン劇団」を立ち上げ、教師と俳優が会う場づくりや教材研究を行っている。

ファシリテーター：清水 洋幸



清水 洋幸

ワークネーム：しみちゃん

「（一社）あそび心BASEアフタフバーバン信州」専任スタッフ／理事長。
広く子どもから大人に対して、あそびや表現コミュニケーション活動を通じて、一人ひとりが自分らしく発揮することや関わることの豊かさを実感することを目指し、豊かな地域社会を作り出すことを目的として活動している。体験活動や表現活動のワークショップ、劇公演、地域・まちをあそぶプログラム、講演や子どもに関わる大人の研修など「あそび・表現・関わり」をテーマに多岐にわたる活動を実践し、長野県内だけでなく周辺都道府県からも招聘され、ワークショップを実施している。

（一社）あそび心BASEアフタフバーバン信州：<https://asobigokorobase.jimdofree.com/>

ファシリテーター：分藤 香 & 矢萩 美里



分藤 香 / 矢萩 美里

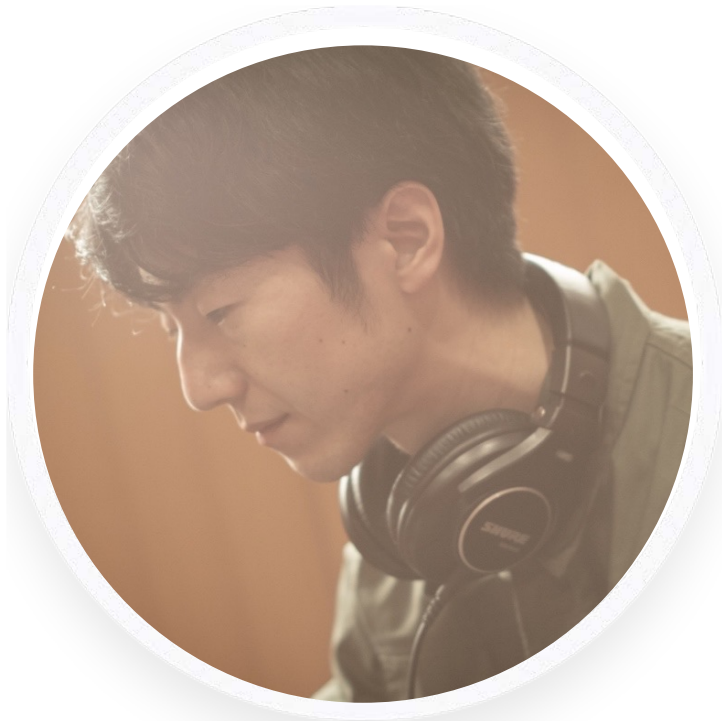
ワークネーム：ぶんちゃん / はぎー

「にちカラ」

2018年より松本市を拠点に、保育士・分藤香とダンサー・矢萩美里が活動をスタート。

3歳～小学生を対象に、体あそびや身体表現ワークショップ、アーティストとの共創企画を展開し、子どもたちの自由で多様な表現を育む場づくりを行っている。2021年より長野県「アートの手法を活用した学び」のファシリテーターとしても活動している。

ファシリテーター：若林 優也



若林 優也

ワークネーム：わかさま

サウンドエンジニア・WSファシリテーター。えんげきで学ぶ研究所代表。

長野県千曲市出身。信州大学卒業後、ライブハウス・小劇場の音響に携わる。現在はフリーのサウンドエンジニアとして各地のイベント・公演の音響を担当している。

2015年よりファシリテーターとして北信地域で実施されている演劇ワークショップに参加。こまばアゴラ劇場 ワークショップ研修会修了。県内外に活動の場を広げている。

えんげきで学ぶ研究所：<https://enmaken.com>

ファシリテーター：小林 英樹



小林 英樹

ワークネーム：こぼちゃん

飯田市出身。ドラマティーチャー／脚本家／演出家。

1999年より長野県で教員として勤務した後、ドラマティーチャーや俳優として幅広く活動。現在は東京都特別支援拠点校の中野中学校に在籍し、巡回指導教員を務める。また、自治体の教員研修をはじめ、学童から高校生までを対象とした講演会やコミュニケーションワークショップを幅広く手掛ける。あわせて、長野県文化振興課・長野県教育委員会による「アートを活用した学び」推進事業の専任ファシリテーターとしても活動している。

Production & Support

企画運営とプロジェクトの支え

プロデューサー：小出 恵



小出 恵

ワークネーム：めぐみん

有限会社ニバイハン代表取締役。プロデューサー／ディレクター。

多摩美術大学美術学部芸術学科プロデュースコース卒業。大手広告代理店から独立後、舞台制作、アニメ作品の商品開発、離島の地域活性事業など、地場の経済と文化が循環し、未来をつくり続けることを常に考え、様々な企画をプロデュースしてきた。

2021年春、軽井沢町に移住後は町と長野県の文化活動を中心に活動している。

アシスタント & アドバイザー

	氏名	ワークネーム	役割・専門
アシスタント	柴崎 直美	きゃんちゃん	現場サポート・進行補佐
アシスタント	田中 涼子	りょうりょう	現場サポート・進行補佐
アシスタント	武重 快人	たけちゃん	現場サポート・進行補佐
アドバイザー	村上 聡恵	むーちゃん	現役小学校教諭・授業設計
アドバイザー	二瓶 野枝	のえ	現役中学校教諭・授業設計

※上記ほか、複数の専門スタッフがプロジェクトを多角的にサポートしています。

「表現コミュニケーションLab.」

運営事務局：有限会社ニバイハン

〒389-0111 北佐久郡軽井沢町大字長倉1959番地8

TEL 050-3577-2552

Mail info@commulab-perform.com

Web <https://commulab-perform.com/>

note <https://note.com/commulab>

YouTube <https://www.youtube.com/@commulab-perform>

Instagram <https://www.instagram.com/commulab.perform/>

Facebook <https://www.facebook.com/perform.commulab>

Line公式 <https://page.line.me/382xcbkg>

